

第1支部研修レポート

刀剣博物館で鑑賞ポイントをマスター！

～保存版資料付き～

2024年7月25日（木）



研修会場は刀剣博物館。両国駅から歩いて7分ほど、緑豊かな墨田区立旧安田庭園横の刀剣博物館。公益財団法人日本美術刀剣保存協会が日本刀文化の普及のため運営する博物館です。入り口の正面の車寄せ前では大きな鉾（けら）が来訪者を迎えます。



館内のスペースを考え、午前の部と午後の部の各20余名の2グループに分かれてイヤホンを使用しながら研修を行いました。参加者は関東在住の全国通訳案内士がほとんどでしたが、新潟県と福岡県からも参加くださったのは担当としては

嬉しい研修となりました。

午前の部は10:00～12:00。参加者は23名（会員14名、非会員6名、研修担当3名）。説明は学芸部博物館事業課主任である学芸員の荒川史人講師が担当してくださいました。



午後の部は13:30～15:30。参加者は22名（会員15名、非会員4名、研修担当3名）。説明は学芸部調査課主任であり文化財博士でもある学芸員の釘屋奈都子講師が担当くださいました。両講師には、事前質問に対しても丁寧な説明を文書でいただくことが出来、当日への期待が高まりました。



午前午後とも、先ず1階の展示コーナーで日本刀剣についての基礎知識を学び、次に3階に移動し、開催中の「第28回特別重要刀剣等新指定展」の説明と自由鑑賞、最後に30分ほど3階展示会場でのQ&Aタイムという構成で行いました。



展示コーナーで説明された、たたら製鉄により製造された玉鋼を、鍛錬と研磨により美しい反り・地鉄（じがね）・刃文（はもん）を持つ刀にまで作り上げる伝統的作刀過程と化学的变化が驚きでした。



3階の特別展示では数点を選んで実際の鑑賞の仕方、なぜそれぞれの刀剣が秀逸とされ選ばれたかなどの説明を受けながら、ライトに輝く刃文や地、爽やかな鋒（きっさき）を一同まさしく“矯めつ眇めつ”。刀剣だけではなく、刀装具、形紙、などの展示も興味深いものでした。当日配付された資料は、帰宅後の復習に大変役立つことと思います。

研修中も私たちのほかに訪れるのは多くがインバウンド客だったのも、海外の方の関心を直に知り、刺激を受ける機会となりました。

JGA 第一支部刀剣博物館研修担当